

今月のトピックス 「斑点米カメムシ類について」

1 斑点米カメムシとは

斑点米(写真)を作るカメムシを総称して斑点米カメムシ類と呼びます。発生密度がそれほど高くなくても米の等級を下げるので、重要な害虫です。

三重県での主な種類は、中型のものはホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類で、小型のものはアカスジカスミカメです(写真)。多くの果樹のカメムシとは種類が異なります。



ホソハリカメムシ



クモヘリカメムシ



シラホシカメムシ



アカスジカスミカメ



斑点米の一例

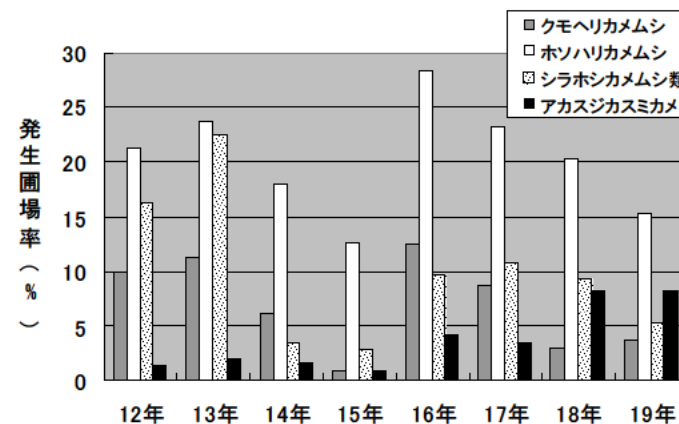
2 被害の出かた

斑点米カメムシ類は水田付近のイネ科の雑草地で越冬し、出穂の頃から水田に侵入します。

籾が吸汁されると、屑米になることもあり、また玄米になれば斑点米を作ります。カメムシの種類や加害時期によって斑点の形状が異なります。

3 三重県の発生の状況

近年ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類は増減を繰り返していますが、アカスジカスミカメ等の小型種は増加傾向がみられます(グラフ)。本県で増加が著しいイネクロカメムシも斑点米を作ります。



三重県における斑点米カメムシ類の推移

4 防除の留意点

早生品種では被害が集中する傾向があります。

圃場周辺の草刈は有効な対策ですが、出穂間際の草刈はカメムシを圃場内に誘い込むこととなりますのでできるだけ避けてください。

防除は地域内での一斉防除が効果的です。

穂揃い期に圃場に侵入してきた成虫を対象に防除を行います。

次いで乳熟～糊熟期に増殖した幼虫やその後侵入した成虫を防除します。

水稻に適用があり、カメムシ類に登録のある農薬を使用してください。